

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北納学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第10号 令和6年2月1日発行

校長 尾島 義弘

令和5年度重点目標 「自分の考えをつくり伝える子どもの育成」

2月になりました。2月4日は立春。暦では春になりますが、まだまだ寒い日が続きます。9年生は高校入試の真っ只中となりました。それぞれ進路は異なりますので、高校が早く決まる人もいれば、最後の最後まで決まらない人もいます。「受験は団体戦」といわれます。力を合わせて最後の一人まで私たち教職員を含め全員でサポートしていきましょう。

新型コロナやインフルエンザの流行もまだまだ続きます。体調管理をしっかりするためにも、うがいや手洗いはもちろんのこと、規則正しい生活（食事をきちんととったり十分な睡眠時間を確保したり）を心掛けましょう。



夢を持って充実した人生を ～大谷選手のグローブが届きました～



「野球しようぜ！」本校に届いたグローブ

1月17日（水）、アメリカの大リーグで活躍している大谷翔平選手から全国の小学校へ贈られたグローブが本校にも届きました。本校では、1月18日（木）に臨時の全校集会をひらき、グローブを披露し、大谷選手からのメッセージを紹介しました。



全校集会でのキャッチボールの様子

現在は昼休みにキャッチボールをするために学級毎に回して使っています。子どもたちが野球に関心を持つだけでなく、大谷選手の願いである何か夢中になるものを見つけることができることを願っています。

大谷選手からのメッセージ（一部抜粋したもの）

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

沖縄の伝統芸能にふれる ～芸術鑑賞会～

1月15日(月)、農業活性化センターのホールにて芸術鑑賞会を行いました。文化庁が行う学校巡回公演事業で沖縄伝統組踊「子の会(しーのかい)」による、おきなわ伝統芸能『琉球舞踊(りゅうきゅうぶよう)』と『組踊(くみおどり)』を鑑賞しました。

この日のための事前学習として、12月18日に「子の会」の方から組踊に関することを学んだり、四つ竹というカスタネットのような楽器を使った踊りの基本的な動作を体験したりしました。また、4年生は全校を代表して琉球舞踊にチャレンジするために練習を重ねてこの日を迎えました。

4年生は沖縄の伝統衣装をまとい『南嶽節(なんだきぶし)』をしっかりと踊ることができました。

当日は多くの保護者の皆様にも参観していただきました。ありがとうございました。



子の会による組踊



南嶽節を踊る4年生

おいしい給食ありがとう ～給食の先生に感謝を伝える会～

1月26日(金)、給食員さんに対して感謝の気持ちを伝える会を行いました。一人ひとりが感謝の気持ちを込めたメッセージを書き、学級ごとにまとめたものを各学級の代表者がそれぞれ調理員さんに渡しました。安全で安心して食べることができる給食にするため

に、給食室や器具の管理、食材選定、調理方法など細かい決まりがあります。これらの決まりをクリアするためにたくさんの苦労があることを改めて考えるとともに、自分の健康のことも考えて給食をしっかりと食べましょう。



メッセージを渡す1年生の様子



調理員さん いつもありがとう

八女市の未来を真剣に考え、伝える ～八女市こども議会～

1月27日(土)、立花庁舎市議会議場にて「第14回八女市こども議会」が開催されました。

本校からは [] さんが参加し、上陽町の祭りについて質問を行いました。上陽町が活気あふれるようになるとともに八女市全体がよりよくなることを願っての貴重な質問でした。松崎副市長からは「みなさんと一緒に考えていきたい」という回答をいただきました。他のこども議員からも、自分の学校で行ったアンケート結果などをもとにした質問・提案など相手を納得させるような工夫をしたものがたくさんありました。



会議場内の様子